

あけましておめでとうおめでとうございます

歴史を変える新たな力で 安保法(戦争法)を廃案に

安倍政治は許さない

去年は安倍政権の暴走が続いた年になりました。「安保法制(戦争法)」が強行され、原発の再稼働が相次ぎました。沖縄では辺野古の大浦湾では米軍の新基地建設のための埋め立て工事が強行されています。

しかし、私たち主権者・国民の怒りと行動の広がり、市民革命」ともいえる、これまでの歴史

を変えるものになりました。

「学生団体・シールズ」や「高校生の会」「ママの会」など若い人からお年寄りまで、世代を超え、党派を超えて「安倍政治は許さない」の声が広がりました。今年はこの声をさらに大きくしていく年にしましょう。

二〇一六年七月に参議院選挙が行われます。ここで、日本共産党の前進と「安保法を廃案にする」候補者の勝利を勝ち取りましょう。熊本では野党の統一候補の第一号になる阿部弁護士擁立が決まりました。さらに市民団体は「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」(仮称)を結成し、戦争法廃止にむけた参院選での野党共闘を求める提案が野党に出されました。日本共産党は一人区で自らの候補者を取り下げても野党共闘の勝利のため奮闘する決意です。

とんでもない、選挙対策…軽減税率「三万円 のばらまき」…消費税の増税NOを

参議院選挙のもう一つの争点は国民生活・暮らしの問題です。安倍政権は来年の四月から消費税を10%への引き上げを強行しようとしています。大企業ばかりを応援する「アベノミクス」は破たんし、国民の生活はどん底です。こんな時に消費税の増税をしたら、国民生活も日本の経済も立ちいかなくな

ることはこれまでの増税が大企業減税の穴埋めに使われてきたことから明らかです。それを隠そうというのが「軽減税率」です。食料品の一部を8%のままに据え置くだけです。その「財源」として「四千億円の低所得者対策」を取りやめるといいます。何のための「軽減税率」か。大増税隠し、選挙目当ての党利党略でしかありません。「消費税10%を中止せよ」の声を日本共産党へお寄せください。さらに自民党は低年金の高齢者に1人三万円を配る「臨時給付金」を決めました。大増税と年金削減を押し付けながら、三万円をばらまく。参院選向けの税金を使った買収行為です。こんな猿芝居に誰がだまされるか。

滑川町の新たな課題で前進させましょう

滑川町でも二〇一六年は様々な課題に取り組むこととなります。新年、一月から「マイナンバー」が始まります。四月からは「介護保険制度」から外された「要支援」の方の町の「総合支援事業」が始まります。「議会改革」として「議会報告会」が始まります。また「第五次総合振興計画」の初年度にあたります。このような課題に皆さんの声を聞き、町役場や議会に届け、ご一緒に取り組んでいきます。今年も皆さんのご支援とご協力をお願いいたします。



町民の声と議会が町を動かす

宮前小への通学路の改修が行われました

小久保健建設前の信号からプチパークの改修とその先の坂の改修が行われ、歩道の幅の拡幅が行われました。

危険な通学路の解消を

阿部議員が6月議会で取り上げた「危険な通学路の改善」の問題で阿部議員が所属する「総務経済建設委員会」が一〇月三〇日に現地の調査を行いました。早速、町が動き、歩道の改修工事が行

われましたものです。

この区間は朝の通学時、特に7時半〜8時ころにかけて、宮前小の小学生と滑川中の中学生の自転車が合流し、中学生が「小学生をよけようとして転倒してケガをした」という話や近所の方からも「危ない場面がよくある。いつもヒヤヒヤしている」との声が寄せられてきました。

歩道の拡幅が必要

朝夕の時間帯は自動車の交通量も多く、車道を自

転車が通行するのは危険であり、歩道は小久保健建設の信号からプチパークまでは幅が2.5mありますが、その先はほぼ2mしかなく、歩道を広げないと危険性は解消できない状態でした。

通学の問題では「子ども議会」の中でも「安全・安心の歩道要求」が取り上げられるなど切実な問題として関心が高まっています。阿部議員は「大きな事故が起きてからでは遅い。町は早急に対応すべき」と訴えてきました。

住んでよかった町づくりを

今回の町の対応は町民の声を受けた議会での質問が町を動かしたものです。今後も皆さんの声を議会にいかし、「住んでいてよかった」町を一緒に作りましょう。



